監督・脚本　木下恵介

禾 こうげ 苗

受賞のお知らせを頂いたときは、お産直後のことでぼんやりはしましたが、キヨトンとして（恰）（恰）ておりました。

うて実感が伸々湧きませんでした。私の平常の性格のうすれば有頂天になって喜ぶところですのに、これは我ながら意外でした。（案外冷淡）

「賞」という字のは頂いてみれば誠の重くなるものなのルに、これないと思うことです。身の恢容を待って、よりよいものを書くように努力て終りようと考えております。

有吉佐和子

（ ）8

候補作三篇それぞれ読みごたえのある作品であった。有吉佐和子氏「香華」は作品のすみずみまで意欲のみなぎっている作品で、力感のあふれたみごとな出来栄えである。この作品は既に評価の定まっているもので、これが候補作に名を列ねている以上、これを受賞

「香華」を推す

井上靖

No.

大変、まさか受賞作品が

他の